

わんわんわん

はにゆうしりつとしよかん

「どろんこハリー」

ジーン ジオン/ぶん 福音館書店 E/ハ

ハリーは、黒いぶちのある白いぬです。なんでもすきだけど、おふろにはいることだけはだいきらいでした。ある日、おふろにお湯をいれると音がきこえてくると…。



「おいぬさま」

荒戸 里也子/著 白泉社 E/オ

お殿さまの飼う、それはそれは巨大な「おいぬさま」に臣下たちはおおわらわ! 「おいぬさま」が巻き起こす、奇想天外・珍騒動絵巻。



「どうするジョージ!」

クリス ホートン/作 BL出版 E/ド

「いいこにしているかい?」と、犬のジョージにハリスが言いました。「もちろん」と、ジョージは言いました。ほんとにジョージはいいこかな…?



「シバ犬のチャイ」

あおき ひろえ/文 BL出版 E/シ

おいら、シバ犬でござんす。豆シバのチャイってんだ。以後、よろしく! 愛犬チャイと家族の1日をあたたくユーモラスに描いた絵本。



「ジローとぼく」

大島 妙子/作 偕成社 E/ジ

子犬を拾った。名前はジロー。僕はいつも一緒に寝てたけど、ジローはどんでんかくなつたから、「ジローの家」を作ってあげた。今日から僕は別々に寝なくちゃいけないんだけど…。



「いぬのサビシー」

サンディ ファッセル/文 光村教育図書 E/イ

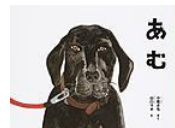
飼主に名前をつけてもらえないこいぬは、自分に「サビシー」と名前をつけました。ある日、飼主は、サビシーを置いて家を出ていきました。入れ替わるようにやってきたのは、小さな男の子がいる一家で…。



「あむ」

小風 さち/さく 福音館書店 E/ア

飼主のかっちゃんのことが好きで好きでたまらない犬のあむ。ある日あむは、かっちゃんを追ってひとりで海に向かい…。



「おいで、フクマル」

くどう なおこ/さく 小峰書店 E/オ

誰かに呼ばれて、ぼくは生まれた。名前は「フクマル」。ぼくを呼んでくれたのは、だれ? 周りの人、動物たちに「きみが呼んでくれたの?」とフクマルは考えますが…。



「100匹のいぬ 100のなまえ」

チンルン リー/さく フレーベル館 E/ヒ

これは私と犬たちの家です。最初は私と1匹の犬の家だったけど、今は私と100匹の犬たちの家! 100匹の犬に名前をつけ、食事をやり、ブラシをかけるの…。



「あしなが」

あきやま ただし/作 講談社 E/ア

美しい犬・あしながは、のら犬たちから嫌われていました。みんなのうわさ話を信じていたのら犬のケン、ある日あしながの本当の姿を知り、ケンの中で何かが変わり始め…。



「フリックス」

トミ ウングラー/作 BL出版 E/フ

猫の夫婦の間に犬の赤ちゃんが生まれました。猫の町では大騒ぎ。その子はフリックスと名づけられ、すこやかに育ち、さまざまな才能を発揮していきますが…。



「わんわんバス」

きむら ゆういち/さく 新日本出版社 E/ワ

町を走るわんわんバス。「ぼくもせて」と待っていたのはぶたくんです。次に待っているお友だちはだれかな?



「しあわせないぬになるには」

ジョー ウィリアムソン/作 徳間書店 E/シ

犬のみなさん、ワンにちは。ぼくたちがワンだふるな毎日を送るにはどうしたらいいか、ぼくなりのおしえを教えてください。でも、人間には内緒ですよ…。



「あきいろのころわん」

間所 ひさこ/作 ひさかたチャイルド E/コ

お友達のおころわんに誘われて、はっばのダンスを見にきたころわん。はっばの色が変わったことに気がついたころわんたちは、秋の色を探しに出かけます。

